

もくじ

新年町長のあいさつ	2
道路改良事業	3
町政報告	4～5
申告相談のお知らせ	6～7
まるねっとだより	8
ホットニュース	9
生涯学習だより	10～11
インフォメーション	13～14
十和田湖冬物語	16



笑顔があふれ、飛躍の年となりますように！

新年あけましておめでとうございます。

小坂マリア園で12月25日、年末恒例の「もちつき会」が行われました。

園児たちは順番に餅つきを体験。「よいしょ」「ぺったんこ」と元気な掛け声が飛び交う中、新たな年の健康や幸せを願いながら、力強くきねを振るっていました。



©小坂町



新しい年を迎えて

小坂町長 細越 満



令和8年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、その年の世相を表す漢字に「熊」が選ばれるほど、全国でクマの出没が例年に比べ非常に多く、町内でも春先からたくさんの目撃があり、夏はナスやキュウリ、秋にはソバや栗、柿などの食害が多くありました。幸いにも町内での人的被害はありませんでしたが、県内では痛ましい事故が多く発生したため、町では鹿角警察署と協力し、パトロールや爆竹・ロケット花火による追い払いを実施したほか、広報や情報配信メール、防災ラジオ等による注意喚起や、秋田県ツキノワグマ等情報マップシステム・クマダスへの情報

掲載を行いました。

今年も季節や場所を問わず身近にクマが存在し、いつでも誰でも事故に遭う危険があることをあらためて認識し、外出や農作業等の際は、鈴など音が鳴るものを携帯する、エサになりそうなものは屋外に置かない、物置小屋など建物の戸締まりをする、家や農地周囲の藪払いをする、目撃したらクマダスへの登録等により情報共有するなどし、人身事故を防ぐ対応をとるようお願いいたします。

8月31日に実施された秋田県総合防災訓練は、大雨による被害が出ている中、震度6弱の地震が発生し、建物被害や人的被害、土砂災害等が多数発生したとの想定で行われました。8月に仙北市や県央部に被害をもたらした大雨や、先月、町内でも震度3の揺れを観測し、運用開始以来初めて後発地震注意情報が発表された青森県東方沖地震など、年々自然災害が増えていることを考えると、決してあり得ないシナリオではないとあらためて感じたところです。

先の能登半島地震を踏まえ、避難所設営や運営の見直しが進められている中での訓練となりましたが、暑さ対策やトイレの確保など、避難所での生活環境上の課題について参加者が情報共有できたほか、初動体制や関係機関との連携のあり方、職員個々の役割を確認できたことは有意義であったものと感じています。これまでの経験や過去の災害からの教訓とあわせて、今回の防災訓練で培ったノウハウを生かしながら、いつ発生してもおかしくない災害への備えに万全を期してまいりたいと考えております。

町にとって記念すべき出来事もありました。昭和30年4月、町村合併法により旧小坂町と七滝村が合併し、人口一万六千五百人余の新町として小坂町が誕生してから70周年を迎え、去る11月2日に、多くの方々にお集まりいただき、70周年記念式典を挙行いたしました。

これまで町が幾多の困難を克服し、70周年という大きな節目を迎えることができたのも、諸

先輩方の並々ならぬご努力と、町民のふるさと小坂を思う熱意の賜であり、これからも町勢を発展させる原動力として、欠かすことのできないものであります。

誇れる郷土を将来世代へ引き継いでいけるよう、これからも町民と一体となつた町政を遂行してまいります。

第6次小坂町総合計画は、前期基本計画の最終年度を迎えています。町の将来像「人と自然と文化を未来につなぐ魅力あふれるまち」の実現に向けて前期計画期間中は、ワインを核としたグリーンツーリズムの推進や、若者世代をターゲットとした住環境整備や子育てしやすい環境整備を進めてまいりました。計画期間も折り返しを迎え、4月からスタートする後期5カ年も、現在策定を進めている後期基本計画に基づき、小坂町の将来を見据えた事業を力強く推進することと、「行ってみたい・住んでみたい」、「いつまでも暮らし続けたい」と思えるようなまちづくりに積極的に取り組んでまいります。

結びにあたり、町民の皆さまの変わらぬご支援をお願い申し上げますとともに、ご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

令和7・8年度 入札参加資格審査申請 「物品等」中間年の受付について

※「建設工事」「測量・建設コンサルタント等」については、秋田県の審査結果及び参加資格名簿を準用していますので、町への申請は不要です。

◆申請様式

国土交通省統一様式、秋田県様式または町様式（詳細は町ホームページを参照）

◆受付期間

2月2日(月)～2月27日(金)
開庁時間9時～12時、13時～16時45分まで
(ただし土日、祝祭日は除く)
※郵送は期間内必着。受付期間以降の「随時受付」は一切行いません。

すでに令和7年2月受付分に提出済みの方は申請不要です。

◆有効期間

令和8年5月1日～令和9年4月30日(1年間)

◆提出方法

- (1) A4判ファイル綴込にて提出(表紙及び背表紙にタイトル・社名を記入。色指定なし)
- (2) 持参または郵送

◆その他

郵送にて受領通知を希望される場合は、提出書類に受領通知用の切手添付済み返信用封筒もしくは官製はがきを同封願います。

■お問い合わせ先 建設課建設班(TEL29-3910)

皆さまのご意見をお寄せください 「第6次小坂町総合計画後期基本計画(案)」 パブリックコメント募集中

町では、新たなまちづくりの指針となる「第6次小坂町総合計画後期基本計画」の策定を進めています。まとめた計画(案)を広く町民の皆さんへ公表し、計画の内容に関して意見を募集いたします。お寄せいただきました意見等は計画策定の参考とさせていただきます。

◆募集期間

2月5日(木)～2月24日(火)まで

◆計画(案)の公表方法

町ホームページのほか、役場総務課、セパーム、川上公民館、七滝支所、十和田出張所で公表します。

◆提出方法

所定の様式に記入し、下記のいずれかの方法により、「小坂町総務課企画財政班 宛」で提出してください。(2月24日[火]必着)

- ①公表場所へ直接提出
- ②郵送 〒017-0292 小坂町小坂字上谷地41-1
- ③ファックス 29-5481
- ④メール kikaku@town.kosaka.akita.jp

提出いただいたご意見についての個別回答はいたしません。また、提出いただいた原稿等は返却しませんのでご了承ください。



■お問い合わせ先 総務課企画財政班(TEL29-3907)

国道282号道路改良事業について



鹿角地域振興局建設部では国道282号の一部区間(古苦竹地区～矢柄平地区)において狭隘部解消のため道路改良事業を行っています。

◆小坂北工区(延長998.0m)

区間：矢柄平地区から余路米地区
期間：令和4年～(完成時期未定)
用地取得実施中

◆一ノ渡工区(延長502.1m)

区間：一ノ渡橋付近
期間：令和2年～令和8年
(令和8年度完成予定)
道路拡幅工事施工中

※工事期間中は交通規制等へのご協力をおねがいします。

■お問い合わせ先 鹿角地域振興局 建設部 企画・建設課(TEL23-2301)

12月定例議会 町政報告

令和7年第7回小坂町議会が12月4日から11日までの会期で開かれ、条例改正・補正予算等、15議案が可決されました。町政報告の要旨をお伝えします。

町政報告要旨

▼除雪体制

「小坂町雪対策連絡協議会」を開催し、今冬の活動方針や除雪計画等を説明し意見交換しました。

今年度も、冬期間における日常生活を安心・安全に過ごしてもらうために、自治会内の共助により取り組まれている「あんしん除雪支援事業」を実施するとともに、「町内除雪デー」への協力など、町民に必要とされる施策を引き続き実施します。

道路除雪については、昨年度と同様に主要な路線を小坂まちづくり株式会社に委託し、大地地区においては引き続き自治会で地域内の除雪を実施します。

また、地域の要望を聞きながら除排雪作業を実施するとともに、町内道路の除雪がスムーズに進むよう、国道及び県道を管理する秋田県との連携を、より一層密にし、安全で安心な道路

の維持に努めます。

町では、議会や町民の皆さんのご理解、ご協力をいただきながら、引き続き町民が安心して暮らせる地域づくりを目指します。

▼新町制施行70周年記念式典について

小坂町は、昭和30年4月の町村合併法により、小坂町と七滝村が合併し、人口1万6,500人余の新町として誕生してから、今年で70周年を迎えました。

11月2日に、セパームにおいて記念式典を挙行したところ、町民、来賓や関係者など140名余りにお集まりいただきました。

式典では、各分野で町勢の発展に多大な貢献をされた8名・1団体の表彰を行ったほか、小坂中学校の生徒2名が、小坂町への思いを綴った記念作文を発表してくれました。

引き続き、康楽館を会場に行われた松竹大歌舞伎公演では中村又五郎さん親子三代による共演、そして中

村種太郎さん・秀之介さん兄弟の奮闘に、会場内は万雷の拍手に包まれました。

また、70周年記念事業として、郷土館では昭和50年代からの歴代ポスターを展示したミニ企画展「小坂七夕祭ポスター展」が7月15日から9月30日まで行われました。

新町制施行から70周年を迎えることができたのも、先輩諸氏のたゆまぬご努力と町民の皆さんのふるさと小坂を思う熱意の賜であり、これからも町勢を発展させる原動力として、欠かすことのできないものです。

また、地方分権の進展とともに、町民と行政の協働によるまちづくりを進めていくことが一層必要とされる時代となっています。

これからも町民の皆さんと一体となった町政を遂行し、小坂町の輝かしい未来を築いていきます。

▼ふるさと小坂会第16回総会・親睦会について

11月15日に東京都の「KK

Rホテル東京」を会場に、首都圏等在住の小坂町出身の方々、小坂町から駆けつけた参加者、そして来賓などを含め、総勢約100名による総会及び親睦会が、2年ぶりに盛大に開催されました。

総会では、会務・決算報告そして予算案が承認され、役員改選では、永楽町出身の倉田正博さんが引き続き会長の任にあたることなどが決定されました。

総会に引き続き親睦会が催され、その冒頭、町の近況として、11月2日に「新町制施行70周年記念式典」を開催したことなどについて紹介しました。

親睦会では、鹿角地域出身の吹奏楽部経験者で結成された「鹿角ブラス」のミニ公演やお楽しみ抽選会が行われ、会場は大いに盛り上がりしました。

また、会場の一角には、「小坂まちづくり株式会社」による物販コーナーが設けられ、総会開始前から、ふるさと

の味を求める方々で大変な盛況でした。

最後には、全員で「小坂中学校校歌」を斉唱し、盛会のうちに親睦会は終了しました。

ふるさと小坂会は町の強力な応援団であり、今後も連携をさらに密にし、よりよいまちづくりに結びつけていきたいと考えています。

▼米の生産状況

令和7年産の米生産については、需要に応じた米生産に生産者自らが取り組みを行う新たな枠組みとなる「生産の日安」を参考とする生産計画の8年目になりました。

主食用米の生産状況は、秋田県から示された「生産の日安」をもとに、鹿角地域農業再生協議会で鹿角地域の「生産の日安」が算定され、その結果、小坂町の主食用米の日安数量は1254・29トン、目安面積換算では238・91ヘクタール、目安率は58・31%となり、各農家には目安率に応じた

個別の目安となる面積等をお知らせしました。

農林班で春・夏・秋の転作物等取組状況の現況を確認した結果、町の主食用米の最終取組面積は前年より65・8ヘクタール増の251・5ヘクタールとなりました。町の生産の目安を超えており、昨年からの米不足や米価高騰等が主食用米への転換に繋がったと考えられます。

米の集荷状況については、10月31日現在で、7,093俵の集荷量です。農家からの予約申し込み数量は、7,668俵だったので出荷率は92・5%となりました。また、当町の1等米比率は10月31日現在で96・6%であり、昨年の同時期を上回っています。

教育行政報告要旨

▼小坂小・中学校児童生徒の活躍について

8月23日には、「鹿角中学校総合体育大会駅伝競走大会」が鹿角市総合競技場で開催され、女子が2位となり、澤口美晃さんが女子5区で区間賞を獲得しました。

9月6日には「鹿角小学校秋季陸上競技大会」が鹿角市総合競技場で開催され、金丸妻也さんが5年男子10

00メートルで1位、兎澤希羽さんが5年女子100メートルで2位、川口玄真さんが男子共通走り幅跳びで1位となりました。

同じく9月6日に「鹿角中学校秋季総合体育大会」が鹿角市・小坂町で開催され、陸上競技では、成田羽汰さんが男子1年1500メートルで3位、宮舘滯さんが男子共通110メートル障害で1位、共通男子砲丸投げで1位、木村龍玖さんが共通男子砲丸投げで2位、和田七海さんが共通女子800メートルで3位、共通女子砲丸投げで2位、永田珠梨さんが2年女子1500メートルで2位、成田芽生さんが2年女子1500メートルで3位のほか、共通女子400メートルリレーで3位となるなど、参加選手一人一人が練習の成果を発揮しました。

バスケットボールでは、男子が十和田中との合同チームで準優勝、女子が3位となりました。

野球では、八幡平、尾去沢との3校合同チームで準優勝となり、代表決定戦で勝ち抜き、大館ニプロハチ公ドームで開催された第71回北鹿中学校新人野球大会に出場しました。

また、9月20日、21日には、

「全県中学校秋季陸上競技大会」が大館市長根山陸上競技場で開催され、宮舘滯さんが男子共通110メートル障害で6位となりました。

吹奏楽部の活躍もありました。「2025日本管楽合奏コンテスト予審査会」にて全国大会の出場団体に選出され、11月1日に東京都・文京シビックホールで開催された全国大会に出場し、優秀賞及び「フोटorafay賞」を受賞しました。これまでの生徒の根気強い努力による成果であり、一人一人の演奏技術がさらに向上している結果と考えています。

児童生徒の活躍は、小中一貫校として、小学校での学びが中学校へとつながり、切磋琢磨している姿であり、日々の練習における学校・保護者をはじめ、地域の指導者や関係団体の皆様のご理解ご指導の賜と思っております。

▼まなびピア2025について

まなびピアは、町民の皆さんの生涯学習活動の交流と発表の機会をもち、より効果的な推進を図ることを目的に、「生涯学習のつどい」として平成2年度から実施し、以降毎年度開催しています。

本年度は、10月4日、5

日の2日間にわたって開催され、作品・活動展示には、一般町民・団体の作品のほか、町内保育所や小坂小・中学校の作品などの出展がありました。

また、今年は、コーラスの発表や体験コーナーのほか、飲食コーナーなど食事部門の実施に加え、川上大太鼓の披露もあり、来場者は約1,016名と、例年を上回る多くの方々に足を運んでいただきました。

初日は、小学校体育館で学習発表会、2日目は、セパームアリーナで坂中祭と合唱コンクールが同時開催され、まなびピアにもたくさんの方々が訪れました。

両校のステージ発表では、ふるさと小坂についての発表や、合唱、劇、ダンス、英語暗唱・弁論発表など、小中一貫教育校としてのふるさとキャリア教育の成果が見られ、観客から多くの拍手が送られました。

教育委員会では、今後も生涯学習に関する事業をより一層充実させ、地域と学校との連携により、「まなびピア」が幅広い世代の発表の場、多くの町民が集う世代間交流の場として発展できるよう努めます。

主な議決事項

●条例の一部改正

◆小坂町議会議員及び小坂町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例

◆小坂町職員の給与に関する条例

◆特別職の職員で常勤のもの

◆の給料、旅費及びその他の給与額並びにその支給方法に関する条例

◆小坂町議会の議員の議員報酬等に関する条例

◆小坂町デイサービスセンター設置条例

◆小坂町中小企業従業員退職金等共済条例

◆条例の制定

◆小坂町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

●補正予算

◆一般会計(第5号)

◆国民健康保険特別会計(第2号)

◆後期高齢者医療特別会計(第1号)

◆介護保険特別会計(第3号)

◆歯科診療所特別会計(第2号)

◆小坂財産区特別会計(第1号)

◆水道事業会計(第2号)

◆その他

◆知識経験を有する者のうちから選任する監査委員の選任

令和8年度(令和7年分)町・県民税の申告相談のお知らせ

申告のご案内は1月中に全世帯(施設・寮等は除く)の世帯主様宛に別途郵送します。

1. 町・県民税の申告が必要な方

令和8年1月1日現在、小坂町に住所があり、次の(1)から(5)に該当する方

(1) 給与所得者で次に該当する方

- ・勤務先から小坂町へ「給与支払報告書」が未提出の方
- ・給与所得以外の所得がある方
- ・各種控除(医療費控除等)を適用させたい方

(2) 公的年金所得者で次に該当する方

- ・公的年金所得以外の所得がある方
- ・65歳未満で公的年金収入が98万円より多い、65歳以上で公的年金収入が148万円より多い方
- ・各種控除(医療費控除等)を適用させたい方

(3) 事業所得などがある方(農業、営業、不動産、山林、一時、雑所得など)

(4) 非課税収入のみの方(遺族年金、障害年金、傷病手当、雇用保険など)

(5) 前年に収入がなかった方(家族に扶養されていた方も簡易申告書の提出が必要です)



(4)、(5)に該当する方は、「簡易申告書」へ記入し、※各施設の投函箱への投函又は郵送で提出してください。※役場1階税務班・七滝支所・十和田出張所・セパーム・川上公民館

2. 税務署での申告となる方 次の①～⑥に該当する方は税務署で申告を行ってください

- ①住宅借入金等特別控除(住宅ローン控除)の初年度控除を受ける方
- ②譲渡所得(土地・建物等)のある方
- ③上場株式等に係る譲渡所得や配当所得があり、控除や還付を受けようとする方
- ④先物取引に係る雑所得がある方
- ⑤青色申告書、雑損控除の申告書、準確定申告書(亡くなった方の申告書)を提出する方
- ⑥令和6年分以前の確定申告書を提出する方

※昨年まで、国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料を年金天引き以外で納付いただいている世帯へ、「確定申告用納付確認書」を郵送していましたが、**今年度からは郵送しません**ので、ご注意ください。

このため、申告受付期間中、役場で申告される方は納付確認書を提出する必要はありません。役場以外で申告される方については、納付書でご確認いただくか、税務班・七滝支所・十和田出張所で「確定申告用納付確認書」(交付手数料無料)をお求めください。

家屋を取り壊したとき(建物滅失届出書の提出について)

住宅や小屋などの家屋の全部または一部を取り壊したときは、届出が必要です。

※固定資産税は毎年1月1日現在の状況で課税されます。家屋を取り壊してもその年内に届出がなければ、翌年度もその家屋は課税の対象となります。

○登記している家屋を取り壊した場合

秋田地方法務局大館支局(Tel.0186-42-6514)で建物滅失登記申請が必要

○登記されていない家屋を取り壊した場合

「建物滅失届出書」を町民課税務班へ提出が必要
家屋の取り壊し前後の写真を添付ください。

令和8年度(令和7年分)町・県民税申告相談受付日程表

月日	曜日	地区名	会場	受付時間
2/12	(木)	野口(施設含む)	小坂町役場 (会議室101)	【午前の部】 9:00～12:00 (午前の受付は 原則指定地区のみ) ※1月5日から役場開庁 時間が9:00に変更と なっていますのでご注 意ください。 【午後の部】 13:00～15:00 (地区指定なし)
13	(金)	濁川(1区)、濁川(2区)		
16	(月)	濁川(3区)、余路米、砂子沢		
17	(火)	万谷(上)、南つつじ平		
18	(水)	万谷(下)		
19	(木)	荒川		
20	(金)	北つつじ平、道作、大地		
24	(火)	狐崎、牛馬長根、赤坂、子坂、雨池		
25	(水)	藤原、鴫、鳥越、長沢		
26	(木)	上川原、大生手		
27	(金)	岩沢、魁		
3/2	(月)	北あけぼの、南あけぼの、尾樽部、 銀山町、山手		
3	(火)	上小坂、中小坂、下小坂		
4	(水)	栄町、永楽町、栗平		
5	(木)	矢柄平、細越、細前田		
6	(金)	古苦竹、川通り、重兵衛、寺の沢		
9	(月)	藤倉団地、成森、みどりヶ丘		
10	(火)	東渡ノ羽、西渡ノ羽、一本杉		
11	(水)	新花町、蛭		
12	(木)	さくらんぼ団地、けやき宿舎		
13	(金)	若葉町、向陽		
16	(月)	十和田湖地区 ※昨年から会場変更	十和田出張所	10:00～15:00

例年日程後半の午後は混み合い、待ち時間が長くなっています。お早めの申告をお勧めしています。

★税務署から確定申告のお知らせハガキが送付された方は、申告会場へお持ちください。

【申告のときに必要なもの(一般的な場合)】

すべての方	マイナンバーカード又は通知カード及び本人確認書類
所得税の還付がある方	本人名義の金融機関の口座番号が確認できるもの
給与と収入のある方	令和7年分給与所得の源泉徴収票(原本・全て)・控除がある場合は控除証明
公的年金等収入のある方	令和7年分公的年金等の源泉徴収票(原本・全て)・控除がある場合は控除証明
報酬等収入のある方	報酬の支払調書・シルバー配分金通知書等
事業収入のある方	収支内訳書・帳簿・領収書等→収入及び経費は集計が必須
医療費控除のある方	医療費控除明細書→領収書等の金額は集計が必須
※集計・整理が不十分な場合は後日に回っていただく場合がありますのでご了承ください。	

※申告相談期間中は、お電話等のお問い合わせには折り返しの回答となり、お時間がかかります。

■お問い合わせ先 町民課税務班(TEL29-3904)

民生委員・児童委員の方々をご紹介します

令和7年12月1日付で29名の方が厚生労働大臣から委嘱されました。支援が必要な人の見守りや訪問、また住民と行政の橋渡しなどの活動を担っておりますので、お気軽にご相談ください。

担当地区	氏 名	担当地区	氏 名	担当地区	氏 名
野口	川口 泉	銀山町・尾樽部	浅利 由子	荒川	福田有希子
濁川	杉原 智美	新町	藤原 仁志	万谷	佐々木文子
余路米・砂子沢	銭盛ヨシ子	永楽町・一本杉	佐々木善信	つつじ平・道作	西野 昭子
細越・矢柄平	本田恵美子	川通り	目時紀代子	牛馬長根・狐崎	成田 一君
古苦竹	豊口真理子	細前田	岡田マキ子	鳥越・藤原	和田 壽夫
上小坂	花田 広光	若葉町・栗平	和田 晶子	鶴・長沢	成田 慶子
中小坂・下小坂	工藤 守男	栄町	佐藤東太郎	休平・生出	立崎 光子
岩沢	池田 律子	南あけぼの	工藤 恵子	全町(主任児童委員)	長井 文美
藤倉団地・大生手	木川田節子	螢・けやき宿舎	田原 正志	全町(主任児童委員)	成田真紀子
成森・山手・イロハ・みどりヶ丘	柏山 一子	さくらんぼ団地	熊谷 祝子		

■お問い合わせ先 小坂町民生児童委員協会事務局(福祉課町民福祉班内)(TEL29-3925)

まるねっとだより

■お問い合わせ先 福祉課まると支援班 地域包括支援センター (TEL29-2950)

要介護認定等を受け生活されている方の控除のお知らせ

①要介護認定を受けている方の障害者控除

障害者手帳をお持ちでない方でも、基準日(前年12月31日)に介護保険の要介護認定(要介護1～5)を受けている65歳以上の方は、所得税や住民税(町県民税)の申告の際に障害者控除または特別障害者控除の対象となる場合があります。この控除を受ける場合は「障害者控除対象者認定書」が必要です。発行を希望する方はお問い合わせください。

②おむつに係る費用の医療費控除

傷病により原則6か月以上寝たきりで医師が治療上おむつを使用することが必要であると認める場合、おむつに係る費用は医療費控除の対象となります。医師の作成する「おむつ使用証明書」または町が発行する証明書(おむつ代の医療費控除の証明)で手続きすることができます。町の証明書の発行を希望する方は、一定の要件を満たしている必要がありますので事前にお問い合わせください。

■お問い合わせ先 福祉課町民福祉班(TEL29-3925) 地域包括支援センター(TEL29-2950)

住み慣れた場所でいきいきと暮らし続けられるまちづくりを目指して～居場所活動の紹介～

地域に住む皆さんが定期的に集まり、主体的に企画・運営して体を動かしたり、趣味活動などをしたりして交流する「居場所活動」を紹介します。

【その1】濁川グラウンドゴルフ交流会

川上公民館の体育館に週2回集まり、グラウンドゴルフを通して交流を図っています。体を動かすだけではなくスコア計算なども行い自然と体にも頭にも刺激になっています。この日は8名が参加し「ナイス!」など声をかけ合いながら活動していました。



1月のかようカフェ ～認知症カフェ～

※はっぴいポイントカードの対象事業です。申し込みは不要です。

【日 時】 1月20日(火)(開場9時45分)10時～11時頃

【会 場】 セパーム 2階ホール

【内 容】 ちょこっと体操、かようカフェ音楽会～楽しい音(ね)～

12月のミニ講話では認知症の原因となる病気や65歳未満で発症する若年性認知症について学び、ちょこっと体操では、つま先あげ、パタカラ体操、大腿四頭筋の体操を行いました。ハンドベル演奏を聞いたり、体験したりしてクリスマスを味わいました。





「NHK海外たすけあい」キャンペーン 赤十字奉仕団が募金呼びかけ

毎年12月に全国で実施されている「NHK海外たすけあい」の募金キャンペーンが12月15日、小坂町でも行われました。

この日は、町内在住の赤十字奉仕団がマックスバリュ前で街頭活動を展開し、買い物客らに善意の募金を呼びかけました。期間中は役場窓口に募金箱も設置しました。

お寄せいただいた募金総額は15,030円になりました。日本赤十字社を通じ、世界各地の自然災害や紛争等による被災者救援、発展途上の開発協力などに役立てられます。たくさんのご協力、ありがとうございました。

赤十字奉仕団は、随時加入者を募集しています。

■お問い合わせ先

日本赤十字社小坂町分区分区(TEL29-3925)



年末飲酒運転追放飲食店訪問 飲んだら乗らない!飲酒運転根絶!

飲酒を伴う会食等が増える年末を迎えるにあたり、鹿角交通協会小坂支部と小坂町防犯協会による「年末飲酒運転追放飲食店訪問」が12月2日に行われました。

各団体の役員や鹿角警察署、小坂交番の警察官らが町内の飲食店を訪問し、飲食店の代表者や従業員、来客に「お酒を飲んだら絶対に運転しない(させない)ください」「運転する方には酒類の提供をしないで」と直接伝えながら、注意喚起の啓発を行いました。



小坂小・中で「桃豚」給食 地域食材学び、おいしく味わう

小坂小・中学校で11月26日、町内外で生産されているブランド豚「桃豚」をメインメニューとした給食が提供され、児童がおいしく味わいました。

地域食材食育教育の一環として、町内の養豚業・ポークランドグループ(豊下勝彦代表)から無償で桃豚が提供され、しょうが焼きに調理。小学5年生のクラスでは、児童が豊下代表と一緒に給食の時間を過ごし、やわらかい桃豚を大きな口でほおばりました。

給食の前には、豊下代表の講話も行われ、生産量や安全第一にこだわって飼育していることなどが紹介され、児童は熱心に耳を傾けていました。



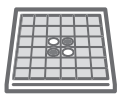
小坂町防犯協会の防犯・交通安全教室 防犯や交通安全を再確認

小坂町防犯協会(会長:大森昌雄氏)の「防犯・交通安全教室」が11月6日、マリア園で開催されました。

昨年に続いての開催となり、園児は講師として参加した警察官から気を付けるポイントについて説明を受けると、「覚えているよー!」といった声も上がり、熱心に参加していました。

このほか、横断歩道の模擬体験等も行われました。園児は日常生活で気を付けている防犯や交通安全に関する様々なことについて、あらためて注意しようという気持ちを新たにしていました。

町長杯争奪 囲碁将棋大会



開催のお知らせ



町内の囲碁・将棋愛好者の親睦を深めるため、今年も囲碁将棋大会を開催します。たくさんの参加をお待ちしています。

- 日 時 2月8日(日) 9時～
- 会場 セパーム 2階和室
- 実施競技 囲碁・将棋別個人戦
- 参加料 1人 1,200円(昼食代を含みます)
- 対象 町内在住または、町内事業所に勤務している方(18歳以上)
- 申込締切 1月30日(金)

※当日参加はできませんので、必ず事前に申し込みください。

■申込み・お問い合わせ先
中央公民館(TEL29-2069)

開催 第14回 KOSAKA アカシアスプリント大会

下記の日程で開催します。

なお、詳細や申し込みについては町ホームページをご確認ください。

- 日 時 2月22日(日) 競技開始9時30分～
- 会場 小坂町陸上競技場・野球場特設会場コース
- 競技種目
 1. 中学生(全学年)男・女
1,200m クラシカル
 2. 小学校高学年(5・6年生)男・女
700m クラシカル
 3. 小学校中学年(3・4年生)男・女
500m クラシカル
 4. 小学校低学年(1・2年生※幼児含む)男・女
300m クラシカル

ホームページは
こちらからアクセス



■申込み・お問い合わせ先
KOSAKAアカシアスプリント大会
実行委員会事務局(セパーム内)
(TEL29-2069 FAX29-4436)



小中一貫教育情報 つながり



●わくわく！にこにこ！笑顔の輪～思いやりの心でみんなが楽しく輝く坂っ子～

12月10日、小学校運営委員会と中学校生徒会事務局の共同運営による「あかしあ集会」を行いました。1年間の中でさまざまな合同行事を行っていますが、最も小中一貫教育を象徴するのがこの行事です。小学生と中学生が手を取り合って交流を深め、協力の心や思いやりを育てるための集会です。「手つなぎ！かぶさんがころんだ」でふれあいを深めたり「学校〇×クイズ」で相談したりして、縦割り班で協力して楽しみました。



また、「ありがとうの貯金箱」のメッセージ紹介では、会場が温かい心で満たされました。最後に恒例の「絆の輪」を全校児童生徒でつなげて完成させました。中学生の声かけに小学生が親しげに応じるなど、とても温かい雰囲気が集会が進みました。小坂小中だからこそのよさを感じることができた集会でした。



●ありがとう、上手にできたよ。昔遊び集会

12月5日、小学1・2年生が昔遊び集会を行いました。地域のおじいさんやおばあさんから、めんこやおはじきなどのコツを教えてもらいながら楽しみました。

初めて挑戦する子も、成功した時は笑顔がいっぱいでした。PTA授業参観でもあったので、お父さん・お母さんも一緒に楽しみました。



●後は頼んだよ、バトン集会

11月25日、学校生活のあらゆる場面でリーダーとして牽引してきた中3生の思いを、中2生が受け継ぐことを宣言する「バトン集会」を開催しました。学級や部活動で感じた心情をありのまま伝える3年生の姿から、とても感動的な集会となりました。



■お問い合わせ先 小坂小学校(TEL29-2422) 小坂中学校(TEL29-3232)



第6回 ポップdeビブリオバトル 結果発表

小坂図書館では、読書週間(10月27日～11月9日)にちなみ、小坂小中学校の児童生徒を対象に、おすすめ本の紹介ポップを競うポップdeビブリオバトルを開催しています。

第6回を迎えた今回のポップdeビブリオバトルも、児童生徒の力作が揃いました。

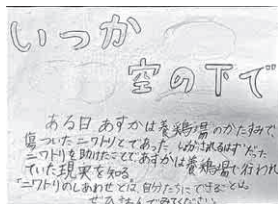
作品は、小坂図書館ロビーに1月31日(土)まで展示していますので、ぜひご覧ください。

〈小学校の部〉 応募総数125点

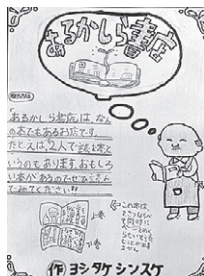
優秀賞	佐藤 由埜(小1)	佳作	児玉 晴(小1)
	佐々木 紳(小2)		工藤 広一(小2)
	中村 璃煌(小3)		秋本 咲凜(小2)
	亀田 菜瑠(小4)		我妻 瑛登(小2)
	目時 めい(小5)		榊 未来(小3)
	中村 大河(小6)		高橋 理暉(小4)
優良賞	後藤 亮太(小1)	倍賞	一颯(小4)
	藤嶋 響喜(小2)		中村 誠希(小5)
	工藤 啓太(小3)		澤田 里湖(小6)
	小笠原佳那(小4)		
	目時 和(小5)		
	川口 玄真(小6)		

〈中学校の部〉 応募総数68点

優秀賞	秋本 絢美(中2)
優良賞	中泉 花音(中2)
	阿部 逢夢(中3)
	武石 のあ(中3)
	中村 恋嘉(中2)
佳作	柴田つばき(中1)
	亀田 花杏(中2)
	杉原 紬(中2)



優秀賞 亀田菜瑠さんの作品



優秀賞 目時めいさんの作品



優秀賞 中村大河さんの作品



優秀賞 秋本 絢美さんの作品

小坂図書館新着図書

★小説・エッセイ

- チョコレート・ピース／青山美智子
- 天狼(東京湾臨海署安積班)／今野敏
- ナースの卯月に見えるもの4 天国への道草／秋谷りんこ
- 交番相談員 百目鬼巴／長岡弘樹
- 飛越／馳星周

★実用書

- 昭和100年懐かしの情景／南正時
- 歯並びをよくする離乳食・幼児食／杉原麻美
- まいにち梅づくし生活／山本将志郎
- はじめてのクラフト盆栽／日本クラフト盆栽作家協会

★児童書

- どろぼうねことピヨピヨ／かのうかりん
- ドラえもんゆめのおしごとずかんたべもの／藤子・F・不二雄
- 春の雨にぬれて、獅子はおどる／岳明秀 他多数

おはなしランフ

1月のテーマ「ふゆ」

絵本の読みきかせと工作をします

【日時】1月24日(土)10時30分～11時30分

【会場】小坂図書館

【対象】幼児から小学生、保護者

【主催】おはなしぼっくす

参加自由
無料

■お問い合わせ先 小坂図書館(TEL29-2207)

オンラインコンサート 第2弾
瀬口侑希&大江裕&一条貫太

(全国公民館連合会事業)

とき 1月21日(水)14時～15時

ところ セパーム 2階 ホール

※参加費は無料です！



セパームの大画面を利用し、生放送のオンラインコンサートを開催します。

「きいて、うたって、参加して！」あの日をみんなで思い出しましょう♪

お誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。皆様のご来場をお待ちしています。

■お問い合わせ先
教育委員会学習振興班(TEL29-2069)

防災気象情報などから 災害時の行動を学びました

各自治会の自主防災組織リーダーや自主防災組織が未結成の自治会を対象とし、組織の育成強化や結成推進を図ることを目的に、秋田県主催による「令和7年度自主防災組織育成指導者研修会」が役場本庁舎で行われました。

当日は11自治会から参加があり、秋田地方気象台地域防災官から「防災気象情報の活用」、県職員から「身近な災害リスクと地区防災計画」と「流域治水の推進」の講話を聴講し、地域課題や大雨への警戒・対処など災害時の行動と減災対策について考えました。



日頃からの防災対策が大切です!!

非常持ち出し品の整理、携帯電話の充電、非常食と水分の備蓄、燃料の補給など再確認し、日頃からテレビやラジオで各種防災気象情報に耳を傾けましょう。

就学援助のお知らせ

◆対象

令和8年度に小学校1年～中学校3年となる児童・生徒の保護者

◆援助を受けることができる方

- ① 生活保護を停止又は廃止された方
 - ② 町民税非課税又は減免されている方
 - ③ 個人事業税・固定資産税・国民年金等の掛金を減免されている方
 - ④ 国民健康保険税を減免又は徴収猶予されている方
 - ⑤ 児童扶養手当を受けている方
 - ⑥ 生活福祉資金の貸付を受けている方
 - ⑦ その他(審査で認められた特別事情の方)
- ※上記のいずれかに該当し、基準以下の所得の方

◆援助内容

学用品費・修学旅行費・給食費等

◆申請手続き

学校等を通じて全児童・生徒に申請用紙をお渡ししますので、申請期間内に教育委員会へ提出してください。

◆申請期間

1月15日(木)～2月2日(月)

■お問い合わせ先

教育委員会総務班(TEL29-2342)



冬が楽しくなる? カナダの冬の楽しみ方

「寒すぎて外に出たくない」「雪が多くて大変」そんなふうに思ったことはありませんか? 実は、カナダでも同じように感じる人はたくさんいます。しかし、長い冬と何世代もつきあってきたカナダでは、春を待つだけではなく、冬を楽しむという考え方が自然に広まりました。

私の出身地ケベック・シティの冬は、小坂町よりも気温が低く、雪もたくさん降ります。冬の寒さは、毎年ほぼ5か月続きます。こうした環境の中で、カナダでは雪や氷を楽しむための文化が生まれました。

その一つが、アイススケートです。カナダでは、凍った湖や川の上で、屋外スケートを楽しむことがよくあります。森や街の景色を見ながら滑ることもあり、とても気持ちがいいです。昔は橋が少なかったため、凍った川が冬の道として使われていました。氷がとても厚くなり、車が走れる道を作ることもあります。

アイススケートといえば、アイスホッケーも欠かせません。冬になると、近所の屋外スケートリンクで、子どもたちがホッケーをして遊んでいる光景をよく見かけます。

昔から続く冬の文化もあります。先住民や入植者たちが、雪の中を移動するために使っていたかわいい「犬ぞり」は大切な手段でした。また、氷上釣りも有名です。凍った湖の上に小さな小屋を建て、中で暖まりながら、会話や時間を楽しみます。

カナダの冬は厳しいですが、その分、冬と上手につきあう文化が育ちました。冬の楽しみ方は人それぞれ。寒い季節にも、楽しみはたくさんあります。

町営住宅入居者募集

1月23日(金)締め切り

	渡ノ羽住宅 (公営住宅)	栄町住宅 (公営住宅)	大川岱住宅 (公営住宅)	渡ノ羽ハイツ (若者定住 促進住宅)
住戸 番号	16-2号	5号	1号	A-2号 A-3号
単身入居	×	×	○	○
間取り	2LDK	2LDK	3LDK	1LDK
所在地	小坂鉦山字 渡ノ羽 52番地2	小坂鉦山字 栗平 14番地1	十和田湖字 大川岱 19番地13	小坂鉦山字 渡ノ羽 14番地1
建物 概要	木造平屋建て 2戸1棟	木造2階建て 2戸1棟	木造2階建て 2戸1棟	木造2階建て 4戸1棟
月額 家賃 (敷金 なし)	I 21,400 ~Ⅳ31,800円 家賃は所得により 決定 共益費別途	I 16,800 ~Ⅳ25,000円 家賃は所得に より決定	I 14,700 ~Ⅳ21,900円 家賃は所得に より決定	35,000円 駐車場使用料 別途 共益費なし
その他	所得制限あり (上限)	所得制限あり (上限)	所得制限あり (上限)	入居条件 ・世帯主が 40歳未満 優先入居あり 無料Wi-Fiあり

申込方 「町営住宅入居申込書」に入居予定家族全員分の「住民票」、「所得・課税証明書」、「完納証明書」を添えて建設班にお申込みください。

■お問い合わせ先 建設課建設班(TEL29-3910)



情報

珈琲とスイーツのマリ
アーデュミルハス珈
琲友活2026」

◆日時

2月15日(日)13時~16時

◆会場

あきた芸術劇場ミルハス

◆対象

秋田県在住、在勤、移住を
検討されている方で、25歳
以上39歳までの独身男女

◆内容

珈琲をテーマにおいしいス
イーツも味わいながら楽し
く交流します。

◆申込期間

2月7日(土)まで

◆お問い合わせ先

あきた結婚支援センター
(TEL018-874-9471)

◆「スマホによる申告書
作成会場」を開設

大館税務署は、令和7年分
確定申告における「スマホに
よる申告書作成会場」を開設
します。

◆開設会場

大館税務署

◆開設期間

2月16日(月)~3月16日(月)

◆開設時間

※土日、祝日除く
9時~17時

◆お問い合わせ先
大館税務署

(TEL0186-42-1836)

電線・電柱の異常を見
つけたらご連絡ください

冬季は雪の重みや強風によ
り、樹木が電線・電柱に倒れ
かかり危険な状態となること
があります。

安全のために、電線・電柱
に接触している樹木や切れた
り、垂れ下がっている電線・
電柱へは絶対に近づかないで
ください。異常や設備不良を
見つけた際は、情報を提供を
お願いします。

◆連絡先

電気の電線は東北電力ネッ
トワークコールセンター
(TEL0120-175-366)

電話線はNTT東日本
(TEL0120-444-1113)

ふくしのしごと総合
フェアin秋田

◆日時

3月7日(土)13時~15時

◆会場

ホテルメトロポリタン秋田

◆対象

求職者、学生、福祉の仕事
に関心のある方、求人事業
所 ※事前申込みが必要

◆申込み・お問い合わせ先

秋田県福祉人材センター
(TEL018-864-2880)

「国の教育ローン」(日本政策金融公庫)のご案内

高校、大学等への入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。お子さま一人につき350万円以内を、固定金利(令和7年11月1日現在で年3・15%)で利用でき、在学期間内は利息のみのご返済とすることが出来ます。

詳しくは、「国の教育ローン」で検索していただくか、コールセンターへお問い合わせください。

◆お問い合わせ先

教育コールセンター
(TEL)0570-0008656
03-5321-8656

受動喫煙防止対策助成金のご案内、マナーからルールへ!

令和2年度から原則屋内禁煙が義務化されています。飲食店等を営む中小企業事業主が、健康増進法で定める既存特定飲食提供施設に「喫煙専用室」か「指定たばこ専用喫煙室」を設置・改修する場合に、100万円を上限として助成する制度がございますので、ご活用ください。

◆お問い合わせ先

秋田労働局健康安全課

募集

小坂町国際交流協会「国際料理教室」参加者募集

小坂町国際交流員でカナダ出身のフランソワさんがカナダの家庭料理を紹介してくれます。メープルシロップを使った料理を予定しています。

◆日時

2月7日(土) 13時~16時

◆会場

セパーム 調理実習室

◆参加費

一人500円(材料費)

◆定員

20名(先着順)

◆申込方法

申込フォームから申込してください。

◆申込期限

1月30日(金)

◆お問い合わせ先

小坂町国際交流協会事務局
(TEL)29-3908

令和8年度森づくり県民提案事業を募集します

県では「秋田県水と緑の森づくり税」を活用し、県民の皆さんが企画・実践する森づくり活動を募集します。

◆募集対象

植樹や下刈などの森林の整備、クマ出没の恐れのある

◆応募団体

森林の緩衝帯整備など自治会等の地域住民団体、各種ボランティア団体など

◆補助内容

上限40万円
クマ出没抑制については上限100万円

◆応募方法

1月30日までに事業提案書を鹿角地域振興局森づくり推進課へ提出



パソコン事務習得科(鹿角会場)の受講者を募集

◆期間

3月19日(木)~6月18日(木)まで

◆会場

鹿角市内

◆時間

9時~15時50分

◆内容

簿記会計、ビジネスマナー、PC操作とビジネスソフト等の基礎的知識と技能を習得する。

◆対象者

ハローワークへ求職申込みをしている方(定員10名)

◆受講料

無料(諸経費は自己負担)

◆申込締切

2月26日(木)

◆申込み・お問い合わせ先

鷹巣技術専門学校
(TEL)0186-62-1626

グリーンフィル小坂(株)処理水の放射性物質測定結果

飲料水の基準 10ベクレル/リットル (単位: ベクレル/リットル)

採取日	令和7年12月2日			
測定期間	12月3日から12月9日			
採取場所	試料名	ヨウ素	セシウム134	セシウム137
グリーンフィル小坂	処理水	不検出	不検出	4.8
大谷地川末端	河川水	不検出	不検出	不検出
小坂川下流	河川水	不検出	不検出	不検出

水道水の放射性物質測定結果

(単位: ベクレル/リットル)

採取日	令和7年11月18日			
測定日	令和7年11月20日			
採取場所	試料名	ヨウ素	セシウム134	セシウム137
砂子沢浄水場	浄水	下限値未満		
七滝浄水場	浄水	下限値未満		
大川岱配水場	浄水	下限値未満		

令和7年度 小坂町家庭教育支援事業
ぽっぽの学校「おんがくであそぼ」

0・1・2歳児のお友達が小坂マリア園に集まって、お友達とふれあい一緒に楽器や音楽を楽しみます。

■日時 1月14日(水) 10時~11時
■講師 田口 諒也 氏(音楽療法士)
■会場 小坂マリア園
■対象 町内の0・1・2歳児とその保護者(祖父母含)

■申込方法 電話(TEL29-2069)にてセパームへ1月13日(火)までお申し込み下さい。

セパーム休館のお知らせ

2月11日(水・祝)終日

セパーム(アリーナ含む)は全館休館になります。館内電機設備修繕工事のため、全ての施設が利用できません。

町のカレンダー



在宅当番医は、平日は17時から20時まで、土曜は14時から17時まで、日曜祝日は8時30分から17時までです。

月 日	行 事 名	在宅当番医	月 日	行 事 名	在宅当番医
1/ 16 (金)	【可燃ゴミ】	いけがみクリニック ☎30-0111	2/ 1 (日)	第27回ユニカール大会(セパーム)	小坂町診療所 ☎29-5500
17 (土)	【古紙類】	小坂町診療所 ☎29-5500	2 (月)	【図書館休館日】 【町県民税第4期、国保税第7期納期限】 K A B U筋男組(セパーム)	福永医院 ☎35-3117
18 (日)		大湯リハビリ病院 ☎37-3511	3 (火)	豆まき会(マリア園)こさか子育て広場〜わくわく〜(ほっとりあ)2か月児、2歳5〜7か月児育児相談(ほっとりあ)【可燃ゴミ】	鹿角中央病院 ☎23-4131
19 (月)	【図書館休館日】 K A B U筋男組(セパーム)	福永医院 ☎35-3117	4 (水)	お茶っこサロン「一休さん」(だんらん) まるごと健康相談(だんらん)	大湯リハビリ病院 ☎37-3511
20 (火)	行政相談日(小坂町役場)かようカフェ(セパーム) こさか子育て広場〜わくわく〜(ほっとりあ) 【可燃ゴミ】	鹿角中央病院 ☎23-4131	5 (木)		なかのクリニック ☎22-7335
21 (水)	お茶っこサロン「一休さん」(だんらん)	なかのクリニック ☎22-7335	6 (金)	【可燃ゴミ】	いけがみクリニック ☎30-0111
22 (木)	女性教室(セパーム)	いけがみクリニック ☎30-0111	7 (土)	【小坂町不燃物最終処分場開設日(〜8日)】 小坂町国際交流協会「国際料理教室」 (セパーム)古紙類	小坂町診療所 ☎29-5500
23 (金)	【可燃ゴミ】	かつのファミリークリニック ☎22-6080	8 (日)	町長杯争奪囲碁・将棋大会	かつの厚生病院 ☎23-2111
24 (土)	【小坂町不燃物最終処分場開設日(〜25日)】 おはなしランブ「ふゆ」(図書館) 【不燃物B地区・ペットボトル】	大湯リハビリ病院 ☎37-3511	9 (月)	【図書館休館日】保・小・中メディアコントロールチャレンジ(〜13日) K A B U筋男組(セパーム)	福永医院 ☎35-3117
25 (日)	第25回七滝地区ユニカール大会(ほっとりあ)	かつの厚生病院 ☎23-2111	10 (火)	【可燃ゴミ】	かつのファミリークリニック ☎22-6080
26 (月)	【図書館休館日】 K A B U筋男組(セパーム)	小坂町診療所 ☎29-5500	11 (水)	《建国記念の日》 【びん・缶等資源類】 セパーム終日休館	なかのクリニック ☎22-7335
27 (火)	3〜11か月児、1歳6か月児、3歳児健診(役場) 【可燃ゴミ】	鹿角中央病院 ☎23-4131	12 (木)		鹿角中央病院 ☎23-4131
28 (水)	お茶っこサロン「一休さん」(だんらん) 【びん・缶等資源類】	なかのクリニック ☎22-7335	13 (金)	七滝地区自治会運営研究会(ほっとりあ) 【可燃ゴミ】	大湯リハビリ病院 ☎37-3511
29 (木)		かつのファミリークリニック ☎22-6080	14 (土)	川上地区雪中田植え(川上公民館) 不燃物A地区・ペットボトル	福永医院 ☎35-3117
30 (金)	十和田湖冬物語2026(2月23日まで) 【可燃ゴミ】	三ヶ田医院 ☎31-1231	15 (日)		かつのファミリークリニック ☎22-6080
31 (土)		いけがみクリニック ☎30-0111			

町長の部屋から

12月分町長交際費をお知らせします

【計1件 2,000円】

民生児童委員協議会臨時総会歓送迎会 …… 2,000円

ホームページへこれまでの定例会見の概要を掲載していますのでご覧ください。



町の人口・世帯数

12月26日現在の住民基本台帳より
() 内は前月比

人 口 4,297人 (−10人)

男 2,015人 (−1人)

女 2,282人 (−9人)

世帯数 2,166世帯 (−4世帯)



秋田県行政書士会

澤口紀夫行政書士事務所

広告

許認可・登録申請、遺言や相続、契約・農業委員会届出などの相談から書類作成までサポートします。
〈行政書士登録番号 第12021402号〉(他資格:測量士)

秋田県鹿角郡小坂町小坂字中前田30番地
電話番号(事務所)080-1659-1606 (自宅)29-3533

十和田湖冬物語2026

十和田湖の冬を代表する人気イベント「十和田湖冬物語2026」が、今年も開催されます。幻想的な光のトンネルを抜けると、にぎわいに満ちた楽しい空間が広がります。厳寒の澄んだ夜空を彩る冬花火や、地元食材を使ったグルメが並ぶ雪あかり横丁、そして大自然の中で楽しめるスノーアクティビティを、ぜひお楽しみください。

- ◆開催期間 1月30日(金)～2月23日(月・祝)
※火曜日、水曜日、木曜日は定休日(ただし2月11日(水・祝)は開催)
※荒天候時は、日程・プログラムが変更になる場合があります。

◆場 所 十和田湖畔休屋多目的広場



この冊子は環境に配慮し、再生紙および植物油、大豆インクを使用しています。

＜イベント内容＞

- ・ 冬花火 各開催日20時～
- ・ ～大切なあの人へ～メッセージ花火 一発：8,800円～
- ・ 雪あかり横丁 平日：16時～/土日祝：11時～
- ・ 冬の国境祭り 週末限定
- ・ ステージイベント
- ・ すべり台、雪遊び広場、バナナボート



冬物語公式ホームページ▲



■お問い合わせ先 十和田湖冬物語実行委員会 (TEL0176-75-1531)

クリスマス・マーケット in小坂2025

12月20・21日に開催された「クリスマスマーケットin小坂2025」は多くの来場者でにぎわいました。

出店ブースとキッチンカーでは温かい食べ物や飲み物が提供され、同時開催した「小坂七滝ワイナリー創業祭」によるワインも来場者から好評でした。

各種イベントとして用意された「WA ROCK」や「サンタさんと一緒に写真撮影」などで楽しいひと時を過ごす方もいたほか、「康楽館」でのステージイベントにも多くの方が足を運び、フィナーレを飾る「冬花火」では会場から歓声があがるほどの盛り上がりを見せました。



地域DMO



秋田犬ツーリズム
AKITA INU TOURISM

だより

台湾における東北PRイベント「日本東北遊楽日2025」と現地旅行会社との商談会に参加しました。(12/5(金)～12/7(日)の3日間、台湾台北市で開催)

このイベントは2014年にスタートしたもので、これまで台湾のみなさんと一緒に楽しみ、相互理解することで、年々絆を深めてきたものです。

当日は、秋田犬ツーリズムのエリア「奥秋田」の魅力発信としてフォトコーナーやステージイベントなどで会場を盛り上げるとともに、誘客へ繋がるようSNSキャンペーンやアンケートキャンペーンなどでコミュニケーションを図ってきました。

また、商談会では、十和田湖、明治百年通りにも注目が集まり、知名度の高さを実感しました。台湾の多くのみなさまに奥秋田へお越しいただき、地域の魅力を満喫していただきたいと思います。

秋田犬ツーリズムは、これからも『インバウンドをこの地域に呼ぶ』というミッションに積極的に取り組んでまいります。



ホームページ

■お問い合わせ先 秋田犬ツーリズム事務局
(TEL070-2020-3085)

「広報こさか」は、毎月10日の発行日に自治会に届けているため、皆様のお手元に届くまでに若干の日数を要することがあります。ご迷惑をおかけしますが、ご了承くださいようお願いいたします。

広報こさか [No.1196] 2026年(令和8年)1月号 (毎月10日発行)

編集・発行/小坂町役場総務課 (〒017-0292 秋田県鹿角郡小坂町小坂字上谷地41番地1 TEL0186-29-3901 FAX0186-29-5481)

町のホームページ <https://www.town.kosaka.akita.jp/> Eメール koho-kosaka@town.kosaka.akita.jp